

[平成20年度設置]

日本獣医生命科学大学大学院
獣医生命科学研究科 応用生命科学専攻(博士後期課程)

設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日本医科大学
平成21年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	大学院課
職名・氏名	カチョウ シミズ カスヒロ 課長 清水 和弘
電話番号	0422-31-4151
(夜間)	03-3812-4295
F A X	0422-33-2094
e-mail	k.shimizu@nvl.u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

※

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 日本医科大学

(2) 大学名

日本獣医生命科学大学

(3) 大学の位置

〒180-8602

東京都武蔵野市境南町1-7-1

(〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5)

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(テラシ アキオ) 赫 彰郎 (平成13年12月25日)		
学長	(イノエ シゲル) 池本 卯典 (平成11年10月1日)		
研究科長	(イマイ ソウイチ) 今井 壮一 (平成18年4月1日)		
獣医学部長	(シミズ カズマサ) 清水 一政 (平成17年4月1日)		
応用生命科学部長	(アサガリ リョウゾウ) 阿久澤 良造 (平成18年4月1日)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する内容 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
獣医生命科学研究科 応用生命科学専攻(博士後期課程) 博士(応用生命科学)	3年	2人	6人	基礎となる学部名等 応用生命科学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		2(—)人	2(—)人	()人	0.50	
志願者数		1(—)	1(—)	()		
受験者数		1(—)	1(—)	()		
合格者数		1(—)	1(—)	()		
B 入学者数		1(—)	1(—)	()		
入学定員超過率 B/A		0.50(—)	0.50(—)	()		

(注) 1 ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[]	1[—]	[]	
2年次		1[1]	[]	[]	
3年次		[]	[]	[]	
計		1[1]	1[—]	[]	

(注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (該当なし)

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	(主な退学理由)		
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
(主な退学理由)			
平成21年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成18年度入学者 人	平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

< 獣医生命科学研究科 応用生命科学専攻（博士後期課程） >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
動物生産科学特別演習	1~2		4		2	1				
動物機能学特別演習	1~2		4		1	1				
食品機能開発・利用学特別演習	1~2		4		2	1				
応用食品化学特別演習	1~2		4		1	2				
動物生産科学特別研究	1~2		8		2	1				認可時教授1名D合判定のため申請時より1名減⑩
動物機能学特別演研究	未開講 1~2		8		2	1				履修者がいないため未開講⑩
食品機能開発・利用学特別研究	未開講 1~2		8		2	1				履修者がいないため未開講⑩
応用食品化学特別研究	未開講 1~2		8		1	2				履修者がいないため未開講⑩

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目 8	科目	科目 8	科目	科目 8	科目	科目 8	
				[]	[Δ3]	[]	[Δ3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	動物機能学特別研究	8	1～2	専門	選択	20・21年度入学者1名で動物生産科学に所属し研究を行うため
2	食品機能開発・利用学特別研究	8	1～2	専門	選択	同上
3	応用食品化学特別研究	8	1～2	専門	選択	同上

(4) 廃止科目 (なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開設年度の平成20年度の入学者は1名(入学定員2名)であった。また、平成21年度の入学者も1名(入学定員2名)であった。このため、入学者(平成20・21年度)が希望する研究領域がいずれも動物生産科学のため、それ以外の研究指導は開講不要となった。次年度より、広く募集を行い志願者の増加を目指す。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.37$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本医科大学と共用 * 東京都道路拡幅に伴う 道路用地として専用校地 の一部売却⑩、* 日本医 科大学福利厚生施設一部 売却⑩		
	m ² 87,209.97 87,266.41	m ² 96,734.87	m ² 348,462.19 346,477.19	m ² 532,487.03 530,478.47			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本医科大学と共用 日本獣医生命科学大学解 体建物変更のため⑩ 日本医科大学校舎新築の ため⑩		
	m ² 20,552.17 (21,866.81 m ²)	m ² 4,579.72 (m ²)	m ² 20,810.66 (38,793.88 m ²)	m ² 45,942.55 (65,240.41 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	24 19 室	3 室	19 15 室	3 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)	用途変更のため⑩	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数	大学全体		
	大学全体			43 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	大学全体	90,395 (28,474) 90,174 (28,864) 91,587 [29,057] (96,395 [30,574])	2,117 (563) 2,018 [694] (2,117 [563])	2,500 (2,500) 2,600 (2,600) 3,419 [3,419] (2,500 (2,500)) (2,600 [2,600])	1,400 1,437 1,482 (1,600)	414 (414)	600 (600)
	計	90,395 (28,474) 90,174 (28,864) 91,587 [29,057] (96,395 [30,574])	2,117 (563) 2,018 [694] (2,117 [563])	2,500 (2,500) 2,600 (2,600) 3,419 [3,419] (2,500 (2,500)) (2,600 [2,600])	1,400 1,437 1,482 (1,600)	414 (414)	600 (600)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
	1,173.80 m ²		237 席	78,616 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	789.40 m ²		グラウンド				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	1,015千円 1,491千円	1,015千円 1,491千円 1,677千円	図書購入費	34,200千円	34,200千円	34,200千円
	共同研究費等	57,000千円	57,000千円 89,000千円	設備購入費	74,316千円 91,300千円	74,316千円 91,300千円	74,316千円 91,300千円 155,076千円
	学生1人当り納付金	第1年次 1,230千円	第2年次 830千円	第3年次 830千円	第4年次 —	第5年次 —	第6年次 —
学生納付金以外の維持方法の概要		国庫補助金、寄付金及び手数料収入					

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本獣医生命科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
獣医学部									
獣医学科	6	80		480	学士(獣医学)	1.17	昭和24	東京都武蔵野市境南町1-7-1	
獣医保健看護学科	4	80		320	学士(獣医保健看護学)	1.19	平成17		
応用生命科学部									
動物科学科	4	80		300	学士(動物科学)	1.10	昭和24		
食品化学科	4	80		310	学士(食品科学)	1.11	昭和42		
大学の名称	日本医科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
医学部									
医学科	6	110		610	学士(医学)	1.00	昭和27	東京都文京区千駄木1-1-5	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<獣医生命科学研究科 応用生命科学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	キムラ ノブヒロ(61) 木村 信照	平成20年4月	動物生産科学特別演習 動物生産科学特別研究			キムラ ノブヒロ(62) 木村 信照			
専任	教授	スガワラ モリユキ(61) 菅原 盛幸	平成20年4月	動物生産科学特別演習 動物生産科学特別研究			スガワラ モリユキ(62) 菅原 盛幸		動物生産科学特別演習 —	動物生産科学特別研究D合判定につき、担当除外
専任	教授	タナカ ミノル(58) 田中 実	平成20年4月	動物機能学特別演習 動物機能学特別研究			タナカ ミノル(59) 田中 実			
専任	教授	アキサツ リョウソウ(57) 阿久澤 良造	平成20年4月	食品機能開発・利用学特別演習 食品機能開発・利用学特別研究			アキサツ リョウソウ(58) 阿久澤 良造			
専任	教授	フジサワ トモヒコ(49) 藤澤 倫彦	平成20年4月	食品機能開発・利用学特別演習 食品機能開発・利用学特別研究			フジサワ トモヒコ(50) 藤澤 倫彦			
専任	教授	アソウ ケイチ(60) 麻生 慶一	平成20年4月	応用食品化学特別演習 応用食品化学特別研究			アソウ ケイチ(61) 麻生 慶一			
専任	准教授	オオタ ヨシユキ(42) 太田 能之	平成20年4月	動物生産科学特別演習 動物生産科学特別研究			オオタ ヨシユキ(43) 太田 能之			
専任	准教授	アマエ ヒロミ(55) 天尾 弘美	平成20年4月	動物機能学特別演習 動物機能学特別研究			アマエ ヒロミ(56) 天尾 弘美			
専任	准教授	オダケ サチコ(45) 小竹 佐知子	平成20年4月	食品機能開発・利用学特別演習 食品機能開発・利用学特別研究			オダケ サチコ(46) 小竹 佐知子			
専任	准教授	ゴトウ キミヒコ(56) 後藤 公彦	平成20年4月	応用食品化学特別演習 応用食品化学特別研究			ゴトウ キミヒコ(57) 後藤 公彦			
専任	准教授	マツイシ マサノリ(47) 松石 昌典	平成20年4月	応用食品化学特別演習 応用食品化学特別研究			マツイシ マサノリ(48) 松石 昌典			

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
11		11		10	1	11		教員1名がD合判定のため
(11)	()	(11)	()	[△ 1]	[1]	[]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 (該当なし)

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消す。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
(記入例参照)
- 3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
- 5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に()書きで記入してください。(記入例参照)
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- 7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)
- 8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- 9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等（該当なし）

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (17年11月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (19年1月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (20年1月)			

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<獣医生命科学研究科 応用生命科学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等（特になし）

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成20年4月に学長の諮問機関としてFD委員会を設置した。

現在、FD委員会規則制定を準備している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成20年度 年4回開催(5/27, 9/10, 12/3, 3/4)

委員(教員)は、5人(毎回4人以上出席)

c 委員会の審議事項等

- ・教育内容及び方法等の改善のための企画及び実施に関すること。
- ・FD委員会活動報告書の作成に関すること。
- ・その他FD活動の推進に関すること。
(授業評価アンケートの実施・活用について)
(アンケート項目の見直しについて)
(FD講演会の開催について)

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- ・ 新任・昇任教員のためのFDワークショップ参加（同一法人内の日本医科大学が行うワークショップに本学から毎年3～4名参加している。
- ・ FDワークショップ参加（同一法人の日本医科大学が行う教育技法に関するワークショップに本学から毎年3名参加している。
- ・ 授業評価アンケートの実施及び評価上位者に対する授業での工夫に関するアンケートを実施し、結果を授業改善に役立てるよう、メールにて配信した。
- ・ 外部講師を招き、全専任教員を対象にFD講演会を2回実施した。

b 実施方法

- ・ 新任・昇任ワークショップは毎年4月中旬に2日間学外にてタスクフォースを指導・助言者として開催
- ・ FDワークショップは毎年6月下旬に2日間学外にてタスクフォースを指導・助言者として開催
- ・ 授業評価アンケートは毎年前後期末の最終授業の際に科目担当者が実施し、集計結果を各担当者に配布
アンケート結果は学生サイトに公開するとともに、評価上位者の授業の工夫についてアンケートを実施。
- ・ 講演会は2回とも教授会終了後開催し、各回約45%の教員が参加した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任・昇任ワークショップは上述のとおり毎年3～4名参加させている。内容はSGL教育などである。
- ・ FDワークショップは上述のとおり毎年3名参加させている。内容は到達目標・行動目標、フューチャル教育、問題作成技法講習などである。
- ・ 授業評価アンケートは毎年前後期末に実施、集計結果は本人に通知するとともに、学生専用サイトに公開。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ ワークショップに関しては、参加教員がそれぞれの授業で反映させている。
- ・ 授業評価に関しては本人の評価とともに、評価上位者の授業における工夫のアンケート結果も配布して授業改善の指導を行っている。
- ・ FD講演会（テーマ：教育改革&教授法など）では、活発な討議が行われ、それらは授業改善に役立てられている。

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成20年度認可のため、まだ実績がない。本年度は募集定員2名に対して1名の入学者のため、用意したカリキュラムのうち、入学者の所属する研究分野以外の特別研究は未開講となるが、その他の事項については、認可申請時のとおり履行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成16年9月30日 公表（平成10年度～平成14年度分）
- ・ 平成21年7月 公表予定（平成15年度～平成19年度分）

b 公表方法

- ・ 日本獣医生命科学大学 現状・評価・課題（自己点検・評価報告書）を刊行し、文部科学省、関係大学に配布する。
- ・ 上記報告書CD版を作成し、希望者等に配布する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成17年4月に評価機関（大学基準協会）の認証評価済（認証期間 ～ 平成22年3月）

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 5月 末日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- (<http://www.nvlu.ac.jp>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 21年 5月 末日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.nvlu.ac.jp>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。